

1. ODA歴史研究の背景及び問題意識

【背景】

- 2015年には、新たな世界の開発目標である「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、日本でも「開発協力大綱」が採択された。
- 新たな枠組みの下で支援を行うにあたり、改めて日本のODAの成り立ちを含め、どう実施してきたのか、世界で果たしてきた役割、各種の提言・批判を受けた制度改革など、ODAの歴史を振り返る研究を行い、より質の高い成長に貢献するODAにつなげることが重要。

【問題意識】

- ODAへの提言がODA事業・体制に与えた影響
- 国内の多様なアクターの役割、発展
- 長期的視点でのODA事業の評価
- 国際潮流における位置づけ

等々

2. ODA歴史研究の目的等(案)

(1) 目的:

ODAの成り立ち、実施、世界で果たしてきた役割、各種の提言・批判を受けた制度改革等を振り返り、より質の高い成長に貢献するODAにつなげる。

(2) 作業:

文献調査、国内外の関係者へのインタビューを行い、1～5巻にまとめる。

(3) 構成案: 2016年1月からの内容検討会で以下を議論

- ・ 第1巻 日本の援助政策の軌跡
- ・ 第2巻 世界の中の日本援助
- ・ 第3巻～4巻: 開発業界とODA、国民にとってのODA、長期的視点からの評価等
- ・ 第5巻: 資料編

(4) スケジュール

- ・ 2016年1月～6月: 全体構成、第1～2巻、第5巻の内容を検討
- ・ 2016年後半: 第1～2巻、第5巻作成開始
- ・ 2017年以降: 第3～4巻の内容検討、作成開始
- ・ 5年程度を目途に1～5巻完成